

## 野沢温泉村への学生派遣プログラム2017概要について

2010年に設置された社会連携機構のもとにおかれた地域連携推進センターでは、本学創業者出身地（鳥取県・鳥取市、山形県天童市、福井県鯖江市）をはじめとした諸自治体と多様な連携事業を推進しています。

その取り組みの一つとして、2012年度からは創業者出身地への学生派遣プログラムを実施しています。学生と地域の人々の交流・連携を通じて、創業者とその出身地について理解を深め、それぞれの自治体が抱える課題に対して提言を行うことを目的としています。また、参加学生には、その地域を”第2のふるさと”と捉え、プログラム終了後も自身で地域活性化の取り組みに参加することを推奨しています。

2014年度からは、長野県野沢温泉村においても学生派遣プログラムを開始しました。以降、「地域資源を活用した地域振興政策」や「定住人口の増加政策」、2016年度は、村のブランド商品である『野沢温泉物語』の新商品考案をテーマとして、首都圏に住む学生ならではの視点から提案を行ってきました。

そして、2017年度は、昨年度からの継続テーマとして、『野沢温泉物語』～新商品の実現に向けて～」に取り組み、前年度の提案をより具体化、あるいは、それらをふまえて村全体の活性化につながる提案を目指して、以下のとおり実施致しましたので、報告します。

### 1. 実施スケジュール

募集期間 5月11日～5月26日

募集ガイダンス 駿河台キャンパス 5月17日

和泉キャンパス 5月18日

生田キャンパス 5月19日

中野キャンパス 5月20日

6月 9日 参加者ガイダンス（駿河台キャンパス アカデミーコモン8階308F教室）

19：30 ・関係者紹介（村役場担当職員、参加学生、大学教職員）

・野沢温泉村学生派遣プログラムのこれまでの経緯

・2016年度の提案紹介および村からのフィードバック

（講師：野沢温泉村役場担当職員、小池 保夫 政治経済学部教授）

20：40 グループワーク

6月17日～18日 事前調査（1泊2日）

7月 8日 第1回学内研修（駿河台キャンパス アカデミーコモン11階311B教室）

16：30 講義「ほんとうに『地域』のためになる提案をするための事前学習」

（講師：木村 乃 商学部特任准教授）

18：00 グループワーク

7月29日 第2回学内研修（駿河台キャンパス アカデミーコモン8階308F教室）  
16：30 ファシリテーション研修（講師：源 由理子 ガバナンス研究科教授）  
18：00 グループワーク

9月 8日～11日 現地調査（3泊4日）

10月16日 成果報告書提出

11月 2日 成果報告会（野沢温泉村公民館）

※このほか、グループごとの自主的な集まりや、成果報告会に向けた意見交換会を複数回実施。

## 2. 参加人数＝12名（男子5名・女子7名）

※うち2名は、2016年度からの継続参加（男子1名・女子1名）。

※加えて、2016年度の参加者5名（以下、「学内サポートチーム」とする）が、明治大学での研修のみ参加し、意見交換に参加。昨年度の経験を2017年度の参加者に引き継ぎ、提案のバックアップに回った。

※成果報告会では、明治大学生が2年間にわたり「野沢温泉物語」を考えてきた成果を報告するために、当日は「学内サポートチーム」も参加し、2017年度の成果報告の導入として、2016年度の提案概要を発表した。

以 上